

令和 2 年 12 月 2 日
中部地方整備局 港湾空港部
中部地方整備局 清水港湾事務所

農産物を清水港から世界へ ～集荷力を強化！九州＋中部産農産物の共同輸送試験～

政府は、農林水産物・食品の輸出促進に向けた取組を推進しています。
昨年度、中部地方整備局は、中部の農産物を高機能な冷蔵コンテナを用いて、シンガポールへと輸送する試験を行い、鮮度維持状況を確認するとともに、物流効率化方策を検討しました。
今年度は、通年で十分な荷量確保や品揃え強化を図るため、九州産農産物を内航船によって清水港に集め、中部産と共同で海外へ輸送する試験を行います。
つきましては、静岡市中央卸売市場にて報道関係者向け見学会を開催します。

1. 報道関係者向け見学会概要

日 時：令和 2 年 12 月 18 日（金）12:30 ～ 13:30
場 所：静岡市中央卸売市場（静岡市葵区流通センター 1 番 1 号）
内 容：①農産物の海上輸送促進に向けた取組の説明
②バンニング※状況見学（撮影可）
※コンテナ内に貨物を詰め込む作業



出典：国土地理院地図

2. 添付資料「九州＋中部産農産物の共同輸送試験」

3. 取材

- ・取材頂ける報道機関の方は、12月16日（水）17時までに、別紙によりFAXにてお申し込みをお願いいたします。
- ・当日は、12時20分までに見学会場にお集まりください。
※駐車場がございますが（別紙）、極力乗り合せのうえご来場ください。
- ・カメラ等による撮影は可能です。なお、取材の際は、報道機関名がわかる取材者証（腕章）等の着用をお願い致します。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当日は各機関の御参加は最大3名までとし、マスク着用を徹底いただくようお願いいたします（お申し込み数に応じて、さらに人数を制限させていただきます）。集合場所にて手指を消毒頂くとともに検温を実施いたしますので御協力の程よろしく申し上げます（発熱等の症状がある場合、参加をご遠慮頂きます）。

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、中部専門記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾新聞社、港湾空港タイムス、日本海事新聞社、海事プレス、マリタイムデーリーニュース

<お問い合わせ先>

国土交通省中部地方整備局 港湾空港部 港湾計画課 藤井、西家

TEL：052-209-6323 FAX：052-203-9739

国土交通省中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 木全、平野

TEL：054-352-4148 FAX：054-353-3072

(別紙)

国土交通省 中部地方整備局 港湾計画課 宛
FAX送信先：(052) 203-9739

取材申込表

※取材をご希望の場合は、本紙に必要事項をご記入の上、
12月16日(水)17時までにFAXにて申し込みをお願いします。

所属	会社名： _____ 部署名： _____
取材者 ※同行者がいる場合は人数を ご記入ください	代表者氏名： _____ 役職： _____ 他()名
連絡先	TEL：() _____ メールアドレス： _____ (任意)

申込締め切り：令和2年12月16日(水) 17:00 必着

【集合場所、駐車場】



令和元年度の取組

- 中部産の農産物を高機能冷凍・冷蔵コンテナ「futecc」を使用してシンガポールへと試験輸送。
- 多品目の混載可能性、年間を通じた品目の輸送可否に注目。
- 試験の結果、一部の品目を除き、高い鮮度が維持可能であることを確認。
(成果①)
- 通関・バンニングを市場でも可能とする最適化方策を提案。(成果②)

(試験結果の概要)

実施時期	① 夏(8月)	② 秋(10月)	③ 冬(12月)	④ 春(2月)
品目数	野菜 21 (葉ネギ、小松菜 等)	15 (椎茸、馬鈴薯等)	38 (長芋、キャベツ 等)	35 (わさび、白菜 等)
	果実 7 (メロン、モモ 等)	13 (ぶどう、柿 等)	7 (いちご、みかん 等)	15 (デコボン、キウイ 等)
可販率※1 (%)	85.7※3	87.3	95.8	97.7
スコア※2 (5段階)	4.1※3	4.2	4.4	4.2

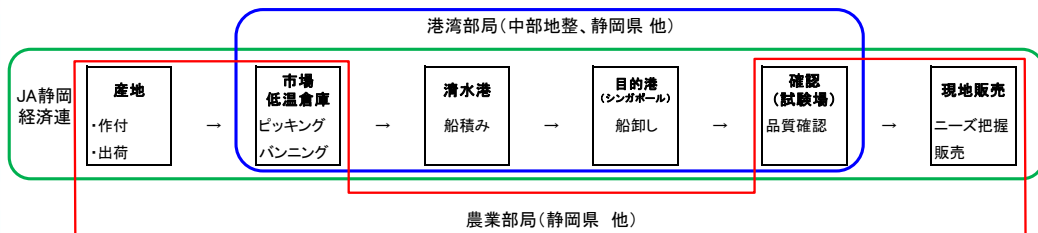
※1 可販率:販売可能な個数比率 ※2 スコア:鮮度を以下の5段階で評価 ※3 各回試験で輸送した全品目の平均値を記載

5:集荷時と同等の品質 4:集荷時には劣るが、良好な品質 3:品質は劣るが、販売可能
2:集荷時よりも大幅に品質が劣る 1:販売は不可

九州+中部産農産物の共同輸送試験



取組の体制



- 港湾部局** : 輸送試験を通じ、産地と連携し港湾から農産物を効率的に輸出するために必要な対策を検討。
- JA静岡経済連** : 農産物輸出における全体のコーディネート、輸送試験を通じ、販売先の拡大、ビジネスモデルの構築。
- 農業部局** : 輸送試験を通じ、現地でのニーズ把握、生産者へ輸出用農産物生産拡大のPR。産地間連携への協力・支援。



国土交通省
中部地方整備局

▶ 農産物の海上輸送促進の取組

① 背景

政府では、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組を推進しています。

令和元年度、中部地方整備局は、中部の農産物を高機能な冷蔵コンテナを用いて、シンガポールへと輸送する試験を行いました。

令和2年度は、通年での十分な荷量確保や品揃え強化を図るため、九州から内航航路によって農産物を集め、中部の農産物と共同で海外へ輸送する試験を行います。

※なぜ海上輸送？

鮮度が重要な野菜・果実は、短時間で輸送が可能な航空輸送が主流でした。近年、長期間の鮮度保持が可能な高機能冷凍・冷蔵コンテナが開発され海上輸送が可能となりつつあります。大量輸送が可能な海上輸送は、航空輸送と比較し輸送費を大幅に抑えることができるため、価格競争力が向上します。

② 令和2年度の取組

輸送品目

- 九州産：さつまいも、白葱、いちご(さがほのか 他1種)等
- 中部産：小松菜、ほうれん草、いちご(べにほっぺ 他1種)等

※品目は、JAの意向やシンガポールでの需要に基づき選定。

輸送試験で期待できる成果

〈令和2年度試験で期待する成果〉

- 物流上の課題について、解決方法を提案。
(コールドチェーンは大丈夫？最適な輸送工程は？)
- 九州+中部産を共同輸送した場合の鮮度維持状況を確認。

〈令和元年度に得られた成果〉

- 多品目混載輸送の可能性を確認。
- 年間を通じた輸出の可能性を確認。
- 通関・バンニングを市場でも可能とする最適化方策を提案。
(輸送日数、コスト共に削減可能)

③ 輸送試験の概要

